

青森県総合社会教育センター主催事業報告

六ヶ所高校 ワークショップ

1 ワークショップに係る学校の要望等

企画の 카테고리	<input checked="" type="checkbox"/> 大学進学 <input checked="" type="checkbox"/> 将来の進路 <input checked="" type="checkbox"/> 多様な価値観 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション <input type="checkbox"/> その他
実施する目的	価値観や視野を広げ、今後の高校生活や進路活動に有益につなげる。
ワークショップ終了後の目指す姿	大学生との交流を通じて、生徒自らが広い視野で将来のことを考えるとともに、夢や志の実現に向けて主体的に行動できるようになること。

2 要望を受けた上でのワークショップのテーマ

テーマ「 361° 」

この企画のカテゴリーは大学進学、将来の進路、多様な価値観、コミュニケーションで、実施する目的は「価値観や視野を広げ、今後の高校生活や進路活動に有益に繋げる」であることから、テーマは「361°」として企画を進めます。

私は高校時代、興味を持った職業に対して「難しそう、できなさそう」といった先入観・固定概念から、今の自分に不足している能力と向き合おうとせずに進路選択してしまったことを後悔しています。

今回のワークショップでは、自分の能力・性格といった固定概念(360°)に囚われず、大学生との対話を通して、自分の中にある固定概念に気づき、新しい自分や価値観の発見に繋げる第1歩(361°)になることを目指します。

これらを意識しながら進めていき、「大学生との交流を通じて、生徒自らが広い視野で将来のことを考えるとともに、夢や志の実現に向けて主体的に行動できるようになること」というワークショップ終了後に目指す姿の達成を目標とします。

3 参加生徒数

第1. 2学年 64名

4 報告

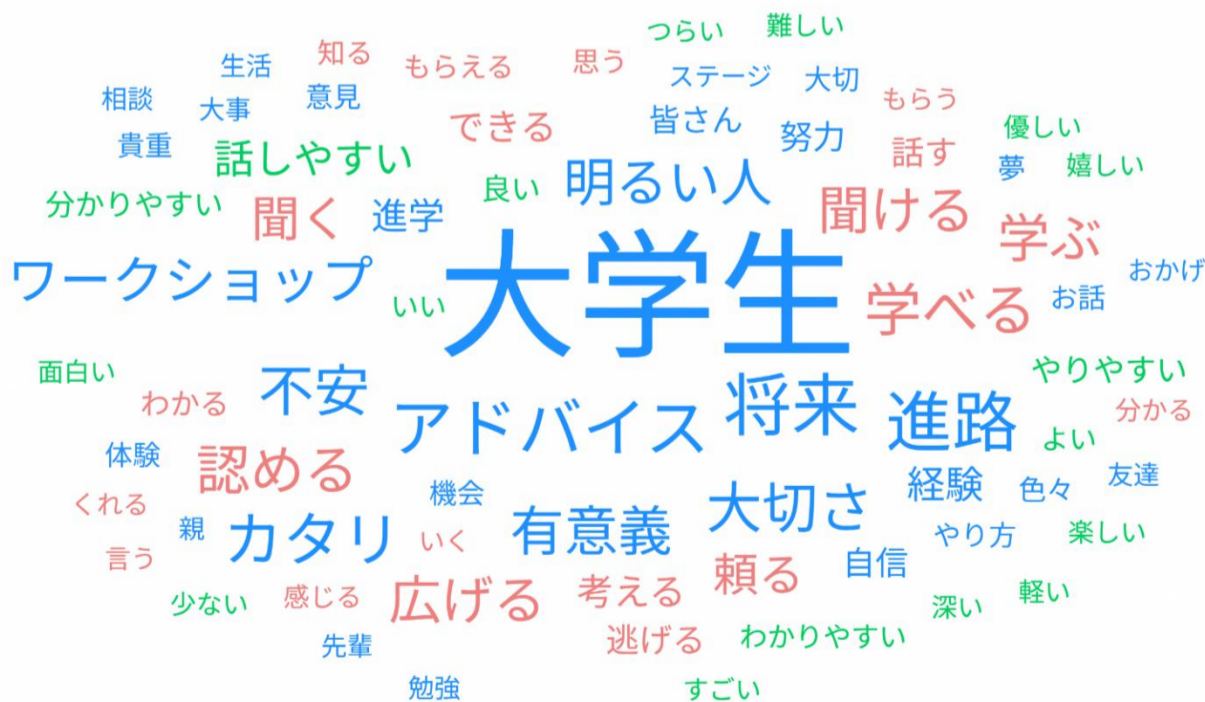
(1) 参加生徒へのアンケート結果 (有効回答数58名、有効回答率90.6%)

ア 有意義度調査

1 ワークショップは有意義でしたか?	3.84
2 ワークショップでの活動において「今の自分・これまでの自分」を見つめなおす機会となりましたか?	3.79
3 ワークショップでの活動は「将来の自分・進路選択」について考える機会となりましたか?	3.76

※アンケートはすべて4件法で実施。数字が多いほうが高評価。

イ 自由記述によるテキストマイニング分析



ワークショップで大学生の具体的な経験談や進路の実際を聞くことで、多くの参加者が不安が和らぎ自信を取り戻し、効率的な勉強法や進路選択の具体的助言を得て自己の努力や自分らしさの重要性を再認識し、好きなことを夢にする意義や夢に誇りを持つことが励みになって将来を深く考え直すきっかけとなった。また率直な体験談により「自分だけが悩んでいるわけではない」と安心して相談できる雰囲気が生まれ、受験や進学後の生活に関する具体的な対策や解決の糸口が見え前向きな気持ちや一歩踏み出す勇気を得た人が多く見られた。

(2) 学校へのアンケート結果

1 ワークショップの満足度は?	4
2 学校としての実施目的の達成度は?	4
3 生徒がワークショップへ参加している様子から、進路や目標を明確に意識できる様子が見られたか?	4

※アンケートは5件法で実施。数字が多いほうが高評価。